

課題 6 . 国際母子保健医療活動

活動項目	活動項目別の実績(概要)
実施活動	1. ヤング・リーダーズ・プログラム (名古屋大学大学院医学系研究科・医療行政修士コース) 平成 16 年 6 月 15 日～6 月 18 日、研修生 6 名 2. セネガル国保健人材開発促進プロジェクトカウンターパート研修 平成 16 年 9 月 7 日(火) 研修生 10 名 3. JICA 研修「アフリカ地域母子保健行政」研修 平成 16 年 10 月 6 日(水)～11 月 14 日(日) 研修生 12 名 4. ラオス国子どものための保健サービス強化プロジェクト」 カウンターパート研修 平成 17 年 3 月 1 日、研修生 3 名

教育研修 「平成 16 年度アフリカ地域母子保健行政」

実施期間	平成 16 年 10 月 6 日(水)から 11 月 14 日(日)
対象者(研修生)	ナイジェリア 4 名、タンザニア 4 名、ジンバブエ 1 名 計 12 名 イラク 3 名 (JICA 研修イラク南部地域医療教育(小児科)コース)
研修内容	<p>国際協力事業団中部国際センターでは、平成 13 年度地域母子保健教育コースを新規に設立、今年度は第 4 回目。当センターはプログラム立案・研修評価等技術協力、会場設営、連絡調整等をしている。</p> <p>基本的なコンセプト：日本の最先端の技術、現在の保健行政システムの紹介のみならず、日本が短期間に母子保健指標を改善してきた歴史、その要因、プロセスを紹介、指導することに重点を置く。</p> <p>プロジェクトサイクルマネージメントの基礎的概要、ジョブレポート発表会 基礎講義</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の衛生行政とその歴史、日本の医療制度・世界の公衆衛生の流れ リプロダクティブヘルスと開発 <p>母子保健</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健所と市町村保健センターの役割・母子保健と統計学 周産期保健(周産期ネットワークシステム、日本の助産院の役割、地域産婦人科医の役割、母子保健と母子健康手帳、日本におけるエイズの状況、母子保健に関わる国際協力の実際) 小児保健(新生児の医療、乳児健診の方法と健診マニュアル、小児保健における保健師の役割、口腔衛生と小児保健、日本における小児歯科、予防接種の歴史と背景、小児の感染症、日本の小児保健、養護学校見学) <p>環境衛生・食品衛生、上下水道の果たす役割、感染症サーベイランス 学校保健・日本の学校保健制度とその歴史、学校検診システム、学校医について 給食の役割とその歴史、学校心臓検診、学校給食の現場</p> <p>アクションプランの作成・発表 スケジュール詳細は別紙</p>

平成16年度アフリカ地域地域母子保健コース日程

日	時	講 義	講師・担当者	会 場	
9月26日	日	来日		JICA大阪	
9月27日	月	JICAフリーフィング		JICA大阪	
9月28日	火	名古屋移動		JICA中部	
9月29日	水	開講式・オリエンテーション		JICA中部	
9月30日	木	日本語・紹介講義(夕方)		JICA中部	
10月1日	金	日本語・紹介講義(夕方)		JICA中部	
10月2日	土	休日			
10月3日	日	休日			
10月4日	月	9:30~12:30	Project Cycle Management	熱田泉(プロアクトインターナショナル)	JICA中部
		14:00~17:00	Project Cycle Management	熱田泉(プロアクトインターナショナル)	JICA中部
10月5日	火	9:30~12:30	Project Cycle Management	熱田泉(プロアクトインターナショナル)	JICA中部
		14:00~17:00	Project Cycle Management	熱田泉(プロアクトインターナショナル)	JICA中部
10月6日	水	11:00~11:30	病院事業庁 表敬	外山	愛知県庁
		14:00~17:00	オリエンテーション及びセンター見学	長嶋正實(小児C)	ACHEMEC
10月7日	木	10:00~12:30	日本の衛生行政とその歴史	田邊穰(金城学院大学)	ACHEMEC
		13:30~16:00	日本の医療保険制度	田邊穰(金城学院大学)	ACHEMEC
10月8日	金	10:00~17:00	カントリーレポート発表会	長嶋、山崎(小児C)他	ACHEMEC
10月9日	土	休日			
10月10日	日	休日			
10月11日	月	休日			
10月12日	火	10:30~12:30	母子保健と母子手帳	中村安秀(大阪大学)	ACHEMEC
		14:00~16:30	各国の保健センターの役割(討論)	中村安秀(大阪大学)	ACHEMEC
10月13日	水	9:30~12:00	世界の公衆衛生の流れ/リプロダクティブヘルスと開発	青山温子(名古屋大学)	ACHEMEC
		13:30~16:00	小児保健における保健師の役割	中澤和美(小児C)、水野加壽子保健師	ACHEMEC
10月14日	木	16:00~	歓迎会	関係者	ACHEMEC
		9:00~12:00	乳児検診	平野 課長 市民福祉部保健福祉課	東海市保健福祉センター
10月15日	金	13:00~16:00	保健所や市町村保健センターの役割	加藤昌弘(知多保健所)	知多保健所
		10:00~11:30	地域の健康づくり	津下一代(あいち健康の森)	あいち健康プラザ
10月16日	土	13:30~16:00	日本の小児保健	山崎嘉久(小児C)	ACHEMEC
		休日			
10月17日	日	13:30~17:00	ジャカランダクラブとの交流会		東生涯学習センター
10月18日	月	9:00~11:30	母子保健と統計学	宮尾克(名古屋大学)	JICA中部
		13:30~16:00	養護学校について(歴史と実状) 交流会を含む	櫻井道雄(大府養護学校)	大府養護学校
10月19日	火	10:00~11:30	障害者支援	三宅和人センター長(らいふ)	ACHEMEC
		13:30~15:00	障害者施設	三宅和人センター長(らいふ)	ひかりファーム
10月20日	水	9:15~11:45	小児心療	杉山登志郎(小児C)	ACHEMEC
		14:00~17:00	日本におけるエイズの状況 エイズ治療と薬剤耐性、 各国のエイズ事情	濱口元洋、金田次弘 (名古屋医療センター)	名古屋医療C
10月21日	木	9:30~12:00	口腔衛生と小児保健	河合良明(愛知県歯科医師会)	愛知学院大学歯学部
		13:30~16:30	歯周病と全身との関係	野口病院長 愛知学院大学歯学部附属病院	愛知学院大学歯学部
10月22日	金	午前	移動		
		14:00~17:00	リプロダクティブヘルスから見たジェンダー	飯島愛子(ジョイセフ)	ジョイセフ
10月23日	土		研修旅行(東京)		
10月24日	日		研修旅行(東京)		
10月25日	月	9:00~14:00	母子保健、家族計画及び国際協力の紹介	飯島愛子(ジョイセフ)	ジョイセフ
		午後	移動		
10月26日	火		代休		
10月27日	水	9:30~12:00	周産期ネットワークシステム	石川薫(第一日赤H産婦人科)	第一日赤H
		13:00~16:00	新生児の医療	鈴木千鶴子(第一日赤H小児科)	第一日赤H
10月28日	木	10:00~16:00	地域の産婦人科医の役割	今井信昭(ふたばクリニック)	ふたばクリニック
10月29日	金	9:30~12:00	日本の助産院の役割	愛知県助産師会	ACHEMEC
		14:30~16:30	助産院の見学	愛知県助産師会	
10月30日	土	休日			
10月31日	日	休日			
11月1日	月	10:00~16:00	予防接種の歴史と背景(研修旅行)	神谷齊,中野貴司(三重病院)	三重病院
11月2日	火	9:30~15:00	母子保健に関わる国際協力の実際(研修旅行)	松林信幸(志摩病院小児科)	志摩病院
11月3日	水	午後	移動		
11月4日	木	9:30~12:30	感染症サーベランス	宮崎豊(愛知県衛生研究所)	愛知県衛生研究所
		13:30~16:30	愛知県衛生研究所見学	各部長(愛知県衛生研究所)	愛知県衛生研究所
11月5日	金	10:00~16:00	山村地域における保健センターの役割 保健スタッフとの意見交換	坂本真理子(愛知医科大学)	足助保健所
11月6日	土	10:00~16:00	アクションプラン作成指導	松林信幸、長嶋正實	JICA中部
11月7日	日	休日			
11月8日	月	9:00~11:30	食品衛生(愛知県北部市場見学)	杉江 功(食品衛生検査所所長)	北部市場
		14:00~17:00	上水道、下水道の果たす役割 (上下水道見学)	(岡崎市)	岡崎市下水道場
11月9日	火	9:30~12:30	日本の学校保健制度とその歴史 (養護教諭を含む)	寺西 陸男(那古野小学校校長)	市立那古野小学校
		14:00~16:30	学校医について	高田秀夫(名古屋市学校医会)	市立那古野小学校
11月10日	水	10:00~13:00	学校心臓検診	長嶋正實(小児C)	ACHEMEC
		14:00~17:00	小児の感染症	安藤嘉浩(小児C)	ACHEMEC

実施活動項目ごとの評価：国際母子保健活動

<p>評価の方法・手段</p>	<p>JICA 研修「平成16年度アフリカ地域母子保健行政コース」について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 評価指標：JICA Questionnaire（研修目的、カリキュラム構成、実施方法について研修員が記入）による評価 2. アクションプラン（研修員が帰国後どのように母子保健活動に取り組んでいくかをまとめた報告書の作成・発表）による評価 <p>その他の研修受入れについて</p> <p>海外専門家との人的交流・派遣に関する定量的評価</p>
<p>評価の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 有用性 <p>国際母子保健医療活動では、JICA 研修「アフリカ地域母子保健行政コース」（研修名は変更された）を平成13年度から実施し4年目を迎えた。昨年度の経験を生かし、実施時期、研修内容の検討などを行い開催した。また、今年度は研修日数も増やし、対象もアフリカの3カ国から8名に加えて、JICA 研修イラク南部地域医療教育（小児科）コースの3名で合わせて12名の参加となった。</p> <p>オリエンテーションで本研修のコンセプトを理解してもらうことが、有意義な研修につながるため、今年度もオリエンテーションを行い開始した。しかし、アフリカ諸国とイラクでは国の諸事情に大きな違いがあるため、同じプログラムでは難しい点もあり、イラクメンバーのために特別メニューも用意した。何を学んで自国でのアクションにつなげるか、その動機付けとなるような内容、また、研修生のニーズをより丁寧に汲み取り研修プログラムに反映させることが大切である。</p> <p>その他の研修受入れでは、「ヤング・リーダーズ・プログラム」6名、「セネガル国保健人材開発促進プロジェクトカウンターパート研修」10名、「ラオス国子どものための保健サービス強化プロジェクトカウンターパート研修」3名と計19名が当センターを訪れ、小児保健における国内での代表的な機関として知られてきていると思われる。</p> 2. 問題点 <p>アフリカ地域母子保健行政コースは、独立行政法人国際協力機構中部国際センター（JICA）が行う事業の実施を担当する機関の一つとして実施してきており、国際的な母子保健への貢献という大きな意味がある。当センター全体の外国人利用者への主体的な対応としては、今後検討の必要があるといえる。</p> 3. 事業継続に関する意見 <p>国際協力事業団中部国際センター（JICA）の実施事業を引き続き受入れる（phase1:平成13年度から5年間）。</p>